

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	善通寺市			代表者名	辻村 修
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル推進課	連絡先電話番号	0877-63-6363
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	大喜多 康彦	連絡先E-mail	
住所	765-8503 香川県善通寺市文京町二丁目1番1号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	庁内BPR推進事業
概要	幹部職員・一般職員に対して、業務改革（BPR）の重要性と取組方法を研修を通して自分事として捉えることができるようご支援いただきたい。また研修後所属する課において業務改革案を自分達で描けるよう助言いただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月7日	支援・助言&講演(実地)	9時30分	16時00分	60
				活動時間（分）	330
2-2. 派遣場所	会場名	善通寺市役所		最寄駅	JR善通寺駅
	所在地	香川県善通寺市文京町二丁目1番1号		最寄駅からの交通手段	徒歩3分

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中村 祥子
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	「なぜ今BPRが必要なのか」「何のためにDXを推進する必要があるのか」を世界情勢や人口統計データ等も活用し、わかりやすく説明していただき、理解を深めることができる研修内容であった。研修後のアンケートも好意的な意見が多く、職員のモチベーション向上にもつながる研修となった。
アドバイザーへの要望事項	研修後の進捗報告を含め、今後も継続的・定期的に助言をいただけると幸いです。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	51人
	属性	自治体職員	住民
	人数	51	0
		0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市では令和4年より、DX推進本部・DX推進プロジェクトチームを立ち上げ、様々な取組みを模索してきたものの、全庁的な理解不足や人員不足等により具体的に実行できたものがなく、DX推進がなかなか進まない状況である。行政事務が複雑化する一方、職員数に関しては、今後さらに減少していくことが明らかになっているため、管理職を含め全職員が業務改革の必要性を意識することが重要である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	これまでのやり方がすべて正しいと鵜呑みにせず、「なぜこの作業が必要なのか」「こうすればもっと良くなるのでは」と、常日頃から疑問を持つことが大切だと考える。そのためには、まず予算をかけないアナログBPRを職員自ら取組めるような組織体制を構築していきたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	午前は「管理職向け」に研修を実施。改善ではなく改革が不可欠である理由を①人口構造変化、②組織の人員分布の歪み、③「VUCAの時代」という3つの不可逆的要因から論理的に提示、さらにBPRの定義、失敗パターン、成功に導く4ステップとECRS原則を解説。最後に具体要請として「推進者の任命」「評価制度・文化の設計」「横断協働の支援」を講話いただいた。 午後は「一般職向け」に研修を実施。管理職向けで説明いただいた内容に触れつつ、普段業務のムダを可視化するため、グループワーク(業務フロー作成)を実施。業務の全体像を把握することで、ムダや重複を発見し、関係者間の共通認識を形成することが重要と学ぶことができた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修後すぐに効果が可視化できるものではないが、受講後のアンケートから職員の意識改善の面では大いに効果的であった。グループワーク等で普段接することのない職員同士で会話できたことも、今後の業務改革を進めるうえでいいきっかけになったと考えている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修では一般的なBPR手法を説明していただいた。今後は、各自取り組んでいる普段業務を具体的にどう見直していくか行動していきながら、改善・改革をしていく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 受講アンケートを行い、多くの参加職員から受講から得られるものがあったとの回答があった。(詳細についてはExcelファイルを添付します)	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	2月にはRPA研修を実施。年度末には市長・副市長に対し、各課ごとに業務改善計画を提出・プレゼンを実施し、評価を受ける予定。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	上司からの指示で動くだけでなく、若手・中堅職員からのDX推進につながる意見が増え、自分ごととして意識する職員が増えていく状態が理想である。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

